ふくちやまし

議会だより

2019 2



■発行／福知山市議会　■編集／広報広聴委員会　■平成31年2月発行　No.120



障害のある方も、高齢者の方も、共に生き生きと暮らしていける福知山を目指して



一日も早い復旧を願い（予算審査報告）…… 3
市民の皆さまからの請願審査…… 4～5
ここが聞きたい！一般質問（17議員が市政を問う）…… 8～16

大規模な災害復旧事業を可決

（土木施設、農地・農業用施設、林道施設、森づくり、小学校、保育園、文化財など）

小学生のプログラミング教育のためのロボット教材の整備や、民間施設のブロック塀などの倒壊による災害防止対策の支援も

12月3日から12月26日までの24日間にわたって12月定例会を開催しました。

この定例会では、平成30年の7月および9月豪雨や、台風24号により被災した土木施設の約5割から6割にあたる災害復旧事業費をはじめ、上川口小学校や三和保育園の法面復旧、文化財の修繕など大規模な災害関連の事業費が提案されました。また、由良川築堤と合わせた川北橋の延伸工事、民間施設のブロック塀などの倒壊による災害防止などの安心・安全なまちづくり対策、さらに将来を担う小学生のためのプログラミング教材の整備や、給与改定を含む人件費の補正予算と、人事議案として下夜久野地区財産区管理会委員の選任など28議案が市長から提案されました。26日には議員提案1議案と合わせて、全29議案を原案どおり可決しました。

また、一般質問は、12日～14日の3日間で、17人の議員が質問を行いました。（質問内容はP8～16を御覧ください。）

請願は、12件が提出されましたが、全て不採択となりました。（内容はP4～5を御覧ください。）

12月定例会で決まった主な案件

平成30年度一般会計および特別会計の補正予算　（万円未満切捨）

◇土木施設、農地・農業用施設、林道施設、森づくりなど災害復旧関連	19億8104万円
◇社会資本整備総合交付金事業（川北橋延伸工事）	1億6300万円
◇プログラミング教育開発推進事業（ロボット教材などの購入）	598万円
◇民間保育所施設整備事業（みどり保育園屋根大規模改修補助）	306万円
◇人件費補正（給与改定や採用・退職・異動などに伴う人件費の過不足調整）	△13万円

平成30年度病院事業会計の補正予算

◇診療収入、材料費、薬品購入の増加によるたな卸資産購入限度額の増額など　3億2652万円

条　例

◇市立学校設置条例の一部改正（下六人部小学校の名称を六人部小学校に変更）

◇特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正（未婚のひとり親を寡婦等とみなして算定）

◇市長、副市長、教育長及び上下水道事業管理者の給与に関する条例の一部改正（期末手当の引き上げ）

◇福知山市一般職職員の給与に関する条例の一部改正他３件

その他

◇工事請負契約の締結（川北橋）、土地の取得（弘法川調節池広場）

◇訴えの提起（裁判上の和解を含む。）、損害賠償の額、土地改良事業の施行

人　事

◇固定資産評価審査委員会委員の選任（2人）

◇下夜久野地区財産区管理会委員の選任（５人）

議員提出議案

◇議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（期末手当の引き上げ）

一日も早い復旧を願い

平成30年度　12月補正予算　25億2072万円
（うち、災害復旧関連　19億8104万円）　可決



社会資本整備総合交付金事業の道路橋りょう事業債

問 川北橋延伸工事の財源に充当する旧合併特例事業債の補正予算成立後の発行可能残額は。

答 予算上の残額は27億20万円となる。



延伸工事が実施される川北橋

プログラミング教育開発推進事業

問 タブレット端末など教材セットの配分の仕方と成果は。

答 整備済みの40セットと新たに整備する88セットを加えた計128セットについて、学級当たりの児童数を勘案し、中学校ブロック単位で10から16セットを配分する。現在までに教職員の研修、協力推進校9校でモデル的な授業を行い、指導計画の検証を行うなどの成果がある。

こぶし荘管理事業

問 補償金393万9千円の算出根拠は。

答 現在の指定管理料の算出根拠を基に、本年4月から12月までの運営経費を1123万6千円と積算し、原価を差し引いた4月から6月までの売上収入と、支払い済みの指定管理料を差し引いた額である。



こぶし荘の背後地法面被災現場

川合分団・有路下分団統合車庫詰所整備に伴う設計および既存建物解体設計業務

問 川合分団・有路下分団の部組織および積載車の出動体制は。

答 人数については現在の定員に変更はなく、三つの部を二つの部に振り分ける。また、初動の体制は、所属する部班に関わらず、積載車の出動に必要な4人が集まり次第、出動することが可能となり、統合車庫を整備することで、初動体制を速やかに行うことができる。



川合分団統合車庫・詰所建築場所
（三和町上川合）



有路下分団統合車庫・詰所建築場所
（大江町二箇下）

公立学校施設災害復旧事業

問 上川口小学校の災害工事の内容と災害査定の状況は。

答 災害復旧は現状復旧のため、災害延長は法面の12m、高さは8・5mであり単純面積は102㎡。ブロック擁壁の考え方はブロック積み工法が最適と考えている。国の災害報告による負担金は、現在計画書を出した段階であり、災害復旧費のヒアリングが年度内にある予定である。ブロック擁壁ができていない状況と学校グラウンドの安全を考え、全体的な判断の上対処していくこととなる。

市民病院の医業収益は

問 外来患者数が減少している要因は。

答 外来患者数の減少は人口動態によるものと理解している。

審査結果

全員賛成で可決
議第81号

賛成多数で可決
議第74号～議第80号

からの請願審査

「介護労働者の労働環境及び処遇の改善」のために国に対し意見書の提出を求める請願

■請 願 者／京都医療労働組合連合会 執行委員長
松本隆浩 氏

■目　　的／超高齢化社会を迎え、介護の人材確保・離職防止対策は喫緊の課題である。介護人材の不足を解消し、介護制度の充実を図るために、介護従事者が抱える「低賃金による生活不安」と「過酷な労働環境による健康不安・生活犠牲」を改善することを求める。

■請願賛成討論 …… 金澤　徹
介護労働者の処遇改善と増員は必要

■請願反対討論 …… 吉見　茂久
財源が必要、今後国の動向を注視するべき

■議決結果／**不採択**

小・中学生の給食費の無償化を求める請願

■請 願 者／福知山の子どもと教育を考える会
代表　夜久弘明 氏

■目　　的／子育て施策の充実により〝子育て世代から選ばれる〟福知山市に転換するよう、小・中学生の給食費の無償化を求める。

■請願賛成討論 …… 金澤　徹
保護者負担の大きい給食費は無償に

■請願反対討論 …… 吉見　茂久
厳しい財政の中、不要不急の事業が優先

■議決結果／**不採択**

小・中学校の体育館、特別教室にエアコン設置を求める請願

■請 願 者／福知山の子どもと教育を考える会
代表　夜久弘明 氏

■目　　的／体育館や特別教室においては、夏場は猛暑に耐えながらの学習となっている。ついては、こうした現状を改善するため、小・中学校の体育館、特別教室にエアコンを設置することを求める。

■請願賛成討論 …… 金澤　徹
猛暑対策からも早急な対応を

■請願反対討論 …… 吉見　茂久
財政負担の観点から国の動向を注視

■議決結果／**不採択**

小学校・中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業における認定基準の緩和を求める請願

■請 願 者／福知山の子どもと教育を考える会 代表
夜久弘明 氏

■目　　的／保護者、児童・生徒が安心して教育を受けられる環境をつくるのが行政の役割である。ついては、認定基準を緩和し、昨年度までの１.５倍に戻すことを求める。

■請願賛成討論 …… 金澤　徹
1.3倍切り下げに保護者の不安な声

■請願反対討論 …… 吉見　茂久
見直しは子どもの進路を広げるため

■議決結果／**不採択**

障害福祉分野における相談支援体制の拡充を求める請願

■請 願 者／合同会社 社会福祉士事務所つゆくさ
代表　田中八州男 氏

■目　　的／事業所に対してさらなる財政支援を行い、障害のある人が必要なときに適切な援助を受けられるよう、相談支援体制の強化・拡充を図ることを求める。

■請願賛成討論 …… 金澤　徹
相談支援体制の強化・充実は切実

■請願反対討論 …… 吉見　茂久
予算拡充が最も良い方法か慎重に検討

■議決結果／**不採択**

「主要農作物種子法に代わる公共品種を守る条例を求める意見書」提出に関する請願

■請 願 者／北近畿から日本の食を考える会
水谷達也 氏　他1名

■目　　的／「主要農作物種子法」に代わる京都府による公共品種を守る条例制定及び都道府県が有する種苗生産に関する知見の民間企業への提供を規定した「農業競争力強化支援法第８条第４号」の削除を求める。

■請願賛成討論 …… 吉見　純男
種子法に代わる府条例の制定は必要

■請願反対討論 …… 髙橋　正樹
農業分野の安定維持には民間との連携が必要

■議決結果／**不採択**

消費税増税中止の意見書提出を求める請願

■請 願 者／福知山地方労働組合協議会 議長
奥井正美 氏　他1名

■目　　的／市民の暮らしと福知山市経済への重大な影響をもたらす消費税10％引き上げを中止するよう求める。

■請願賛成討論 …… 紀氏百合子
消費税増税せず大企業・富裕層減税中止を

■請願反対討論 …… 竹本　和也
社会保障の維持拡充のため必要

■議決結果／**不採択**



福知山児童相談所一時保護所代替施設を福知山市内に設置するよう京都府に意見書提出を求める請願

■請 願 者／新日本婦人の会福知山支部 支部長
中川淑子 氏　他3名

■目　　的／福知山児童相談所一時保護所の施設が、河川改修に伴い一時閉鎖されることとなっている。ついては、京都市、宇治市に移送される一時保護された子ども達、保護者の面会等の負担軽減のためにも、代替施設を引き続き福知山市内に確保されるよう求める。

■請願賛成討論 …… 金澤　　徹
一時保護所代替施設の市内設置は必要

■請願反対討論 …… 吉見　茂久
子どもに安心感をもたらす環境が必要

■議決結果／**不採択**

「日本政府に核兵器禁止条約への調印と批准を求める意見書」の提出に関する請願

■請 願 者／核兵器禁止条約の批准を求める福知山市民の会 代表 朝倉義寛 氏（原水爆禁止福知山協議会代表）

■目　　的／恒久平和宣言都市の福知山市議会が日本政府に対し、核兵器禁止条約への調印と批准を速やかに進めることを求める。

■請願賛成討論 …… 塩見卯太郎
被爆体験の日本から核兵器禁止を

■請願反対討論 …… 柴田　　実
人道上のみならず安全保障の視点も必要

■議決結果／**不採択**

医師養成定員を減らす政府方針の見直しを国に対し求める意見書の提出に関する請願

■請 願 者／京都医療労働組合連合会 執行委員長
松本隆浩 氏

■目　　的／2022年度以降の医師養成定員減という方向を見直し、医療現場と地域の実態を踏まえ、医師数を経済協力開発機構（OECD）平均以上の水準に増やすことを求める。

■請願賛成討論 …… 金澤　　徹
医師養成定員減は地域医療の崩壊

■請願反対討論 …… 吉見　茂久
政府方針見直しの意見書は慎重に

■議決結果／**不採択**

「すべての遺伝子組み換え食品に表示を求める意見書」提出に関する請願

■請 願 者／北近畿から日本の食を考える会
水谷達也 氏　他1名

■目　　的／「遺伝子組み換えでない」食品表示を、意図しない混入率を含めＥＵ並みの0.9％未満へと厳格化し、すべての遺伝子組み換え食品と飼料への表示の義務化を求める。

■請願賛成討論 …… 塩見卯太郎
遺伝子組み換えの全食品に表示を

■請願反対討論 …… 柴田　　実
今後の審議と消費者庁の動向に注視

■議決結果／**不採択**

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を国に対して求める意見書の提出に関する請願

■請 願 者／京都医療労働組合連合会 執行委員長
松本隆浩 氏

■目　　的／医療や介護現場での人員不足はいまだに深刻な状態にある。医師や看護師の過労死を引き起こす事態が続かないよう、安全・安心の医療・介護の実現を求める。

■請願賛成討論 …… 金澤　　徹
医師・看護師などの夜勤の改善を

■請願反対討論 …… 吉見　茂久
保健医療計画に沿い鋭意努力している

■議決結果／**不採択**

12月定例会 委員会審査報告 主な議案審査

総務防災委員会

地方自治法施行令第152条第1項第3号の法人を定める条例の制定

問 この条例制定のねらいは。

答 福知山市が公金を4分の1以上2分の1未満の高い割合で出資している法人について、説明責任を果たす上で、調査権や財政状況の公表を対象に追加し、市の出資状況の見える化を図りたい。

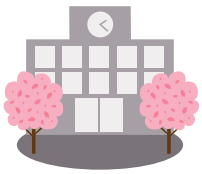
（全員賛成で可決）

特別職、一般職などの給与に関する条例の一部改正

問 経常収支比率が悪化している中で、給与の引き上げという人事院勧告の受け入れはどうなのか。

答 地方公務員法の情勢適応の原則、官民給与の均衡の原則を遵守する観点から検討し、人事院勧告に準じた改定を適当と判断した。

（賛成多数で可決）



教育厚生委員会

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正

問 未婚のひとり親に寡婦控除をみなし適用する改正の目的は。

答 市民税の寡婦控除は未婚のひとり親には適用されず、婚姻したことの有無が市民税額を基礎とする保育料の算定に影響していた。このため、保育料算定の際にのみ未婚のひとり親に寡婦控除をみなし適用することにより、ひとり親の保育料について、婚姻したことの有無による違いが生じないようにするものである。

（全員賛成で可決）

市立学校設置条例の一部改正

問 下六人部小学校の名称変更の経緯は。

答 平成30年4月の統合に際しては当初、校名を変更しないこととされていたが、その後、上・中・下六人部地域で協議が進められ、3地域連名の要望を受け、平成31年4月から六人部小学校に名称を変更することとなった。

（全員賛成で可決）

産業建設委員会

工事請負契約の締結（川北橋右岸上部工工事）

問 入札参加者数と契約相手方の受注実績は。

答 入札には1者の応募があり請負率89・99％で落札された。契約相手方である福井鉄鋼株式会社は、過去5年間において本市の受注実績はないが、京都府内での受注実績はある。

（全員賛成で可決）

土地の取得（弘法川調節池広場用地）

問 土地の取得状況や取得予定価格の根拠は。

答 取得する用地全体は約3万3千㎡であるが、今回5208・31㎡を取得し、残り1筆の約160㎡は本年12月末に取得する予定である。用地買収の単価については、京都府の調整池の用地買収単価に合わせている。

（全員賛成で可決）

土地改良事業の施行

問 災害査定や復旧の状況は。

答 7月豪雨による被災箇所は1470カ所あり、その中で要件を満たし国の査定を受けたのは94カ所であった。その他の箇所は、本市の「農地・農業用施設市単独災害復旧事業補助金」により、12月5日時点で約200カ所を復旧し、また、京都府の「地域力再生プロジェクト支援事業交付金」などにより復旧した箇所もある。

（全員賛成で可決）



国の査定を受けた被災箇所
大門地内（農地：田）

討論

議第5号～議第7号　平成30年度農業集落排水施設事業特別会計補正予算(第1号)ほか

反対　上下水道包括的民間委託に反対する　塩見卯太郎

賛成　民間能力の活用で経営効率化の推進を　髙橋　正樹

議第36号　福知山市行政手続きにおける特定の個人を識別するための個人番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

反対　市民生活の把握では容認できない　紀氏真令子

議第66号　福知山市長、副市長、教育長及び上下水道事業管理者の給与に関する条例の一部改正

反対　市民合意は得がたい　荒川浩司

請願第7号　「旧優生保護法による不妊手術の被害者救済を求める意見書」提出に関する請願

反対　強制不妊術は人権問題だ　井上　修

（※請願を不採択することに反対）

（ほかに反対討論をした議員　荒川浩司）

12月定例会の議決結果について

■全員賛成で可決・同意となった議案

議第81号	平成30年度病院事業会計補正予算(第1号)
議第82号	地方自治法施行令第152条第1項第3号の法人を定める条例制定
議第83号	福知山市職員の自己啓発等休業に関する条例の一部改正
議第87号	福知山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の一部改正
議第88号	福知山市立学校設置条例の一部改正
議第89号	工事請負契約の締結
議第90号	土地の取得
議第91号	訴えの提起(裁判上の和解を含む。)
議第92号	訴えの提起(裁判上の和解を含む。)

議第93号	損害賠償の額
議第94号	土地改良事業の施行
議第95号	固定資産評価審査委員会委員の選任 (芦田　久司　氏)
議第96号	固定資産評価審査委員会委員の選任 (田中　秀明　氏)
議第97号	下夜久野地区財産区管理会委員の選任 (中路　勇喜　氏)
議第98号	下夜久野地区財産区管理会委員の選任 (安達　賢治　氏)
議第99号	下夜久野地区財産区管理会委員の選任 (村田　義昭　氏)
議第100号	下夜久野地区財産区管理会委員の選任 (大江　益夫　氏)
議第101号	下夜久野地区財産区管理会委員の選任 (衣川　康司　氏)

■議員別議案賛否一覧表（賛否が分かれた議案のみ賛否状況を掲載しています）

議案		議決結果	日本共産党市会議員団				福知山市議会公明党		福知山未来の会		蒼士会			大志の会			新政会						真風の会		無会派	無会派
			紀氏百合子	塩見卯太郎	金澤　徹	吉見　純男	吉見　茂久	足立　伸一	森下　賢司	木戸　正隆	野田　勝康	髙橋　正樹	田渕　裕二	桐村　一彦	高宮　辰郎	西田　信吾	藤田　守	芦田　眞弘	奥藤　晃	柴田　実	竹本　和也	中嶋　守	井上　修	田中　法男	荒川　浩司	塩見　聡
議第74号	平成30年度一般会計補正予算(第6号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議第75号	平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議第76号	平成30年度国民健康保険診療所費特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議第77号	平成30年度農業集落排水施設事業特別会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議第78号	平成30年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議第79号	平成30年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議第80号	平成30年度地域情報通信ネットワーク事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議第84号	福知山市長、副市長、教育長及び上下水道事業管理者の給与に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議第85号	福知山市一般職職員の給与に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
議第86号	福知山市病院事業管理者の給与に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
市会発議第6号	福知山市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
請願第8号	消費税増税中止の意見書提出を求める請願	不採択	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
請願第9号	「日本政府に核兵器禁止条約への調印と批准を求める意見書」の提出に関する請願		○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
請願第10号	「すべての遺伝子組み換え食品に表示を求める意見書」提出に関する請願		○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
請願第11号	福知山児童相談所一時保護所代替施設を福知山市内に設置するよう京都府に意見書提出を求める請願		○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
請願第12号	医師養成定員を減らす政府方針の見直しを国に対し求める意見書の提出に関する請願		○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第13号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤交替制労働の改善を国に対して求める意見書の提出に関する請願		○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第14号	「介護労働者の労働環境及び処遇の改善」のために国に対し意見書の提出を求める請願		○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×
請願第15号	小・中学生の給食費の無償化を求める請願		○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第16号	小・中学校の体育館、特別教室にエアコン設置を求める請願		○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第17号	小学校・中学校就学援助事業・特別支援就学奨励事業における認定基準の緩和を求める請願		○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
請願第18号	障害福祉分野における相談支援体制の拡充を求める請願		○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
請願第19号	「主要農作物種子法に代わる公共品種を守る条例を求める意見書」提出に関する請願		○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×

○:議案に対して賛成　×:議案に対して反対　※大谷洋介議員(公明党)は議長職のため表決に加わっていません。　所属会派は、12月26日現在　※請願は受付番号で記載

ここが聞きたい！ 12月定例会

一般質問

各会派から17議員が質問に登壇！

質問議員

1. 福知山市議会公明党 吉見　茂久 議員
2. 福知山未来の会 森下　賢司 議員
3. 蒼士会 野田　勝康 議員
4. 真風の会 井上　修 議員
5. 大志の会 高宮　辰郎 議員
6. 新政会 中嶋　守 議員
7. 日本共産党福知山市会議員団 金澤　徹 議員
8. 無会派 荒川　浩司 議員
9. 日本共産党福知山市会議員団 塩見卯太郎 議員
10. 蒼士会 髙橋　正樹 議員
11. 日本共産党福知山市会議員団 吉見　純男 議員
12. 日本共産党福知山市会議員団 紀氏百合子 議員
13. 新政会 藤田　守 議員
14. 蒼士会 田渕　裕二 議員
15. 大志の会 桐村　一彦 議員
16. 大志の会 西田　信吾 議員
17. 福知山市議会公明党 足立　伸一 議員

※所属会派は 12 月末現在
※この一般質問の掲載内容は、質問内容をもとに各議員が作成しています。

Q 就労支援のさらなる充実を

A 各事業を一体的、効果的に実施



福知山市議会公明党
吉見　茂久 議員

問 **生活保護に至らないように就労支援が必要だが、その取り組み内容は。**

答 就職が困難な方に対する情報提供やハローワーク、北京都ジョブパークなど関係機関と連携して支援を実施。また、本市独自で進めている農業体験や京都府と中丹3市が共同した日常社会的自立訓練を通じた就労準備支援を実施している。相談者の状況に応じ生活習慣やコミュニケーション力を身に付ける場合は、事業所の協力を得た体験的就労など一般就労に至るための就労準備支援も行っている。さらに就労後も必要に応じて見守りなどにより就労の継続支援を実施している。

問 **就労支援は早い段階で成果は出しにくいが、現状を踏まえた今後の取り組みは。**

答 窓口の相談に加え、働く意思があっても外出が困難な方への訪問支援にも取り組む。また、就労準備支援に加え、相談者の生活状況に応じた支援計画作成による自立相談支援や、自らが家計を改善する家計改善支援の各事業を一体的、効果的に実施していきたい。

（福祉保健部長）



就労支援を行う北京都ジョブパーク

その他の質問

- 幼児教育無償化に対する本市の見解は
- 介護保険料抑制に向けた取り組みを
- 医療的ケアが必要な子どもへの支援は
- ふるさと納税返礼品について

Q 自然災害からの早期復旧・復興は

A 本年度・来年度の2カ年で発注予定



福知山未来の会
森下　賢司 議員



市管理河川の護岸が崩れて隣接農地も崩落
早期の復旧が望まれる

問 今年の自然災害からの現在の復旧進捗状況は。

答 国補助による公共土木災害は国の査定を受検中であり、当面緊急性の高い応急工事のみ実施中。市単費で実施の小規模災害は約5割完了。農地・農業用施設は国査定が終了し発注準備中。林道施設は国査定の最中だ。

（市長）

問 最終的復旧見通しは。

答 国補助による工事は、平成30・31年度2カ年で発注予定。早期完了に努めるが、件数が大変多く全てを2カ年で完了するのは困難な場合もある。

問 市管理河川で護岸浸食し、居住に不安のある住居への対応を急げないか。

答 この内容は優先順位が高い箇所に該当するので、早期復旧できるように取り組む。

（土木建設部長）

問 農地の復旧は来春の耕作時期に間に合わせて欲しい、との声が強いが。

答 できるだけ春の作付けに間に合うよう年明けから順次発注予定だが道路・河川工事との調整で間に合わない場合もある。地元に丁寧に説明したい。

（産業政策部長）

問 復旧費用捻出により、他の事業実施への影響は。

答 影響が出ないように工夫している。

（財務部長）

その他の質問

- 荒廃農地を増やさないための策は
- 「自助」「共助」の一層の推進は

Q 公立幼稚園の3歳児への対応は

A 園の総定員数内で柔軟な受け入れを行う



蒼士会
野田　勝康 議員

市内幼稚園の3歳児の定員と応募状況　（人）

幼稚園名	福知山幼稚園		昭和幼稚園		成仁幼稚園	
定員と応募者数	定員	応募	定員	応募	定員	応募
平成27年度	25	48	25	32	25	39
平成28年度	25	31	25	36	25	35
平成29年度	25	35	25	43	25	38
平成30年度	25	32	25	43	25	32

定員を超える3歳児の応募者が続く公立幼稚園

問 幼稚園と保育園の役割の違いは何か。

答 保育園は、「保育を必要とする乳児、幼児」を保育する施設で、入園には保護者が就労しているなどの条件が必要である。幼稚園は教育課程に基づき幼児教育を行う施設である。

問 市内の公立幼稚園、特に3歳児の定数と応募者を比較すると、定員を遥かに超える応募者があることが分かるが、その理由は何か。

答 3年保育を開始した平成27年度の新入園児募集の時より、3歳児学級には募集人数を超える申し込みがある。その最大の理由としては、就学前教育に対するニーズの高まりが挙げられる。

問 3歳児に限ってみれば、絶えず定員を超える応募がある。市民の方の選択肢の多様化の点からも、受入数を増やすなどの検討が、今後必要ではないか。

答 全園とも5歳児の新規応募者数はほとんどなく、昭和幼稚園では5歳児の学級数を1学級減らし、減った学級数分を3歳児学級として開設する予定である。このように、次年度以降は柔軟な受け入れを行っていきたい。

（子ども政策監）

その他の質問

- NHK大河ドラマの本市の取組みと課題

一般質問

Q 庁舎内受動喫煙対策の方向性は

A 庁舎内禁煙から敷地内禁煙へ



真風の会
井上　修 議員

問 来庁者用の喫煙場を撤去して、職員用の喫煙場が残っているのはなぜか。

答 受動喫煙防止の観点から、本庁舎1階東玄関横の喫煙コーナーを廃止し、併せて2階の喫煙コーナーを旧本館横駐輪所の一角に移動して、来庁者と職員の共用としている。

問 テレビなどでは、たばこの害や職員が喫煙のため勤務時間中に、職場を幾度となく離れたとして、職務専念義務違反で訓告処分にした報道がされている。他者への害、職務規律上の問題、生産性の問題などが時代とともに変わっていることなどから、今後の庁舎内の禁煙対策についての考えは。

答 庁舎管理の観点については平成30年7月25日付けで、国や地方公共団体は望まない受動喫煙が生じないようにするための措置を総合的かつ効果的に推進する努力義務が設定された。本庁舎については、これまでの庁舎内禁煙から、原則として敷地内禁煙をしなければならないため、法律の一部施行される来年夏ごろまでに、事前周知と必要な措置を関係部署と取り組む。（市民総務部長）



駐輪所喫煙コーナー

その他の質問

- 市長のマネジメントを問う

Q 買い物弱者の早期打開策を

A 店舗再開へ積極的に対応したい



大志の会
高宮　辰郎 議員

問 7月豪雨災害により、スーパーマーケット閉店という大江地域住民にとって最悪の事態となった。地域の住民の多くが買い物弱者の状況となっている。市としての支援策は。

答 店舗出店を検討される事業者があれば、出店に際し必要となる協議、調整など積極的に対応していきたい。スーパーマーケットの不在が今後も続くのであれば、地域の皆さんと連携協力を諮りながら、大江地域への出店を呼び掛けたい。（地域振興部長）

問 大江駅前ナイン商店街は、平成16年の台風23号時の店舗浸水以降、度重なる被害に遭い、現在店舗数が半減している。当地域の活性化促進に当たり、行政として、今後の駅前の活性化に向けての施策は。

答 大江駅前商店街は地域の商業拠点であるとともに、交流の場として親しまれてきた。賑わいを取り戻し、活性化を図るため、イベント補助金や、街路灯施設整備などの補助金の活用、さらに、商工会との連携や産業支援センターの活用による起業や創業しやすい環境づくりの支援をしていきたい。（産業政策部長）



大江町河守地域の閉店の決まったスーパーマーケット解体現場

その他の質問

- 西日本豪雨等による由良川下流部被災地域の復旧状況と今後の課題は
- 「福知山市における内水対策のさらなる強化を求める決議」に関する議会決議について市長の見解と個々の対応策は
- 市立図書館の管理運営とサービスの充実について

Q 学校跡地利活用について問う

A スピード感を持って対応していく



新政会
中嶋　守 議員

問 統廃合が進んでいるが、閉校した学校は何校あるか。

答 統廃合による閉校は3町との合併前の旧福知山市においては、金山小学校と北陵中学校の2校、平成18年の合併後は、9校である。

問 閉校が増える中で学校跡地について管理上の課題などはあるか。

答 平成29年度実績で閉校した学校、1校あたり平均で106万円の管理費用が必要となっている。加えて年々施設が老朽化している。（教育部長）

問 福知山市として今後の学校跡地活用を進める上での市長の思い、決意を問う。

答 廃校になったとしても、学校施設は公共施設の中でも特に地域の皆さんにとっては、大切な存在であると認識しており、有益な活用を図れるように積極的に取り組んでいきたいと考えている。先進事例に学び、施設や地域特性などを最大限に生かした利活用を進めるための手法や制度設計の検討を行い、事業化への課題解決に取り組むこととしている。（市長）



閉校した旧明正小学校

その他の質問

- 住民票等の自動交付機の市役所本庁への再移設を求める市民の声について
- 安心安全な防犯のまちづくりへの取り組みについて

Q 市町村森林経営管理事業の方針は

A 皆伐再造林でなく間伐中心に実施



日本共産党福知山市会議員団
金澤　徹 議員

問 森林経営管理法が来年度から施行されるが、本法は極めて強権的で市町村への役割が重視され、事務量も増加する。事務の都道府県への代替執行を認めているが、どのようにするのか。また、事務執行スケジュールは。

答 事務の代替執行は、今後、京都府と調整したい。事務執行スケジュールは森林環境税などの法案が成立した段階で一定の範囲を選定し、森林所有者に経営管理の意向調査を実施し、その結果を踏まえ、経営管理権集積計画案を作成し、森林所有者の同意を得た上で当該計画の公告を実施したい。（市長）

問 林業経営に適さない森林に対する市町村森林経営管理事業の方針は。

答 皆伐再造林でなく、間伐中心に実施したい。

問 法42条の災害等防止措置命令の運用対応は。

答 措置命令の適応は、今後、府や他の市町村の動向などを踏まえ、対応を検討する。（産業政策部長）

問 来年度の林務担当職員の増員配置への考えは。

答 職員数は担当課全体の業務量を分析する中で適正な人員体制を確保したい。（市長公室長）



十分に手入れされていない森林

その他の質問

- 本市の再生可能エネルギー施策の展開を問う
- ふるさと納税の取り組み状況と使途について
- 旧福知山市域の地域協議会設立と自治会関係事業について
- 憲法９条の改定および日米地位協定について、市長の所見を問う

一般質問

Q 冷却水ポンプの耐用年数は

A 明確な規定はない



無会派
荒川　浩司 議員



修繕をしたのと同型の冷却水ポンプ

問　今年の7月6日の豪雨時に、荒河排水機場の冷却水ポンプの配管部分から、浸水により汚水が流入し、2号機排水機ポンプは停止した。この件について、冷却水ポンプの耐用年数と、パイプの隙間止めの素材はどうか。

答　耐用年数に明確な規定はない。素材は樹脂性のコーティング材で耐水性である。

問　冷却水ポンプを含む点検要領には、平成28年に国土交通省が出している「河川ポンプ設置点検整備標準要領」がある。その中で、冷却水系統の冷却水配管と冷却水ポンプの「信頼性による修繕・取替の標準年数」は15年とある。該当する冷却水ポンプと配管は3台ある。1台が19年、2台が16年で全て15年を超えているが、問題ではないのか。

答　国交省への確認ができておらず、答弁できない。

問　各排水機場においてポンプ稼働時の回転灯の設置と、水害後の排水データの公表の進捗は。

答　回転灯は、国へも強く要望中である。排水データの公表は、現在は国で調整中だと聞いている。（土木建設部長）

その他の質問

- 三和地域協議会「交通空白地有償運送事業」などから見る、地域づくり組織における今後の事業展開の考え方は
- 福知山鉄道館ポッポランドの再開館の動向とＳＬ走行の可能性について
- 福知山市内における信号機の右折矢印の設置が必要では
- 福知山公立大学、クラブ活動の場の支援を全市的に

Q 災害復旧の費用と国に財政支援を

A 復旧費87億円・国庫負担39億円



日本共産党福知山市会議員団
塩見　卯太郎 議員



土砂崩れで家屋倒壊（石本）

問　災害発生直後から、国交省の緊急災害対策派遣隊（テックフォース）の活動と、本市への報告内容は。

答　災害の早期復旧への自治体に支援を行う組織だ。7月9日から15日間、延べ60隊246人で、市北部、夜久野、大江の道路、河川で、504カ所18億円の調査と、二次災害防止などの助言を受けた。（土木建設部長）

問　法川改修に伴う福知山児童相談所の仮移転と一時保護所は。

答　長田野の企業交流プラザを仮庁舎とし、一時保護所は閉鎖し、京都、舞鶴、峰山の施設に移る。市は、従来通り業務ができるよう努力したい。（子ども政策監）

問　平成25年以後の災害復旧費用と国の補助は。

答　平成25年から30年災害復旧費の見込みは普通会計で87億円。国庫補助などは39億円になる。

問　市財政に大きな影響があり、府、国への要望は。

答　7月豪雨後、国土交通大臣に内水対策、財政支援を要望。市長は国交省と農水省に9回、近畿整備局に3回、府庁に2回要望活動を行った。（財務部長）

その他の質問

- 新年度の予算編成方針に対する市長の所見を問う
- 消費税10％増税はキッパリ中止を国に求めよ

一般質問

Q 市消防団定員数は削減すべきでは

A 削減の方向で見直していきたい



蒼士会
髙橋　正樹 議員

問 福知山市消防団の定員充足率が低い要因は。

答 過疎化や高齢化、また社会環境の厳しさから消防団員のなり手が少ないことが要因と捉えている。

問 現在の定員数、2160人の根拠は何か。

答 平成18年に1市3町が合併した時の合計数をそのまま定員としている。

問 私は以前、13年間消防団に在籍した。しかし、今は20年以上辞められないでいる団員が多数いる。そういった方々は、定員に満たない中で、自分が続ける他ないという精神的な負担を背負い込んでいる。一方、適齢期の方々は「地域を自らで守りたい。」という思いはあっても、厳しい労働環境や社会情勢から入団が難しいことで板ばさみとなり、消防団のない新興住宅地に移り住んでいく。結果、地域から若い人が、ますますいなくなる現状にある。消防団の実情は既に、まちづくりの問題となっている。定員充足が困難なら、定員削減で現実的な対応を図るべきではないか。

答 実情を踏まえ、条例定員数の検討、見直しが必要であると考えている。

（消防長）

近隣市消防団の状況

	条例定員(人)	団員実数(人)	充足率(%)	団員報酬(年)
福知山市	2,160	1,768	81.85	22,500円
京都市	4,970	4,430	89.13	36,500円
舞鶴市	1,380	1,070	77.53	16,000円
京丹後市	1,730	1,630	94.21	19,000円
亀岡市	900	893	99.22	18,000円
丹波市	1,706	1,693	99.23	14,000円

基準日：平成30年4月1日（舞鶴市は5月1日）

近隣市の消防団の状況

その他の質問

- 水防センター整備事業と河川防災ステーションの進捗について
- 投資的経費の増減と地域経済に与える影響について
- 福知山市動物園へのアクセスと駐車場の整備改善について

Q 住民参加で市バス路線存続を

A 地域の議論が必要だ



日本共産党福知山市会議員団
吉見　純男 議員

問 市バス路線は存続すべきだが、三和地域における公共交通のあり方は。

答 買い物など、利用しやすいようにダイヤ調整を行ってきたが、乗車率は増えていない。このままでは市バスの運行を継続することは困難である。廃線も視野に入れて代替交通のあり方を検討する必要がある。三和以外の地域も同様だ。自治会長会や地域協議会を窓口に、今後もより細やかに意見を聞いて検討を進める。現在の形での交通手段が必要であるのか。また、自分たちの地域の交通手段をどのように守っていくのか。地域の皆さんの議論が必要だ。本市としても積極的に関わりながら対応をしていきたい。

（市長）

問 福知山市地域公共交通網形成計画における市民の交通権を保障した見直し状況は。

答 一便当たり1人以下の効率の悪い路線には民間、自主運行、市バスを問わず地域、関係者と再編の協議検討をしている。

問 「三和ひまわりライド」で敬老乗車券の活用ができるようにすべきだが。

答 検討していきたい。

（市民総務部長）



みんなで残そう市バス

その他の質問

- 高すぎる国民健康保険料を引き下げ、被保険者に寄り添った国保制度へ
- 地域振興と住民の暮らしを支える支所機能の充実を

一般質問

Q 公共施設マネジメントの進め方は

A 譲渡や廃止で財政負担を削減する



日本共産党福知山市会議員団
紀氏　百合子 議員

問 マネジメント計画の施設数は何箇所か。用途廃止や閉鎖されていて対象外の施設は無いのか。

答 対象施設は734カ所だ。用途廃止財産は5カ年の実施計画では除いている。（市長）

問 計画前に廃止になった施設も今後どうするのか市民に見える形にすべき。なぜ外しているのか。

答 廃止施設は改修や更新の費用が不要のため除いている。今後は、物件の状態を確認し使用可能ならサウンディング型市場調査※などを実施して利活用方法を検討したい。

問 廃止した施設の処分費用を建て替えた場合の費用と比べて大きな財政効果というのはなぜか。

答 施設機能の必要性などを評価して廃止を決定するので、存続の場合に要する更新費などの削減はマネジメント効果が大きいと考えている。

問 地域の集会施設で避難所などは譲渡や廃止をせず、そのまま提供し続ける方が財政負担が少ないのではないか。

答 譲渡により施設更新費など市の財政負担が削減でき、市民全体の利益になる。（財務部長）



長年閉鎖されたままの
夜久野町保健センター（右）と中央公民館

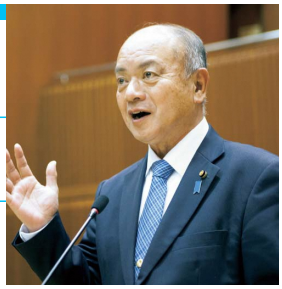
その他の質問

- 職員の任用と勤務の実態について
- 農作業や季節の暮らしに整合した災害復旧のすすめ方について
- 消防施設整備の現状と改善について

※サウンディング型市場調査
市有財産などの有効活用に向けた検討にあたり、その活用方法について民間事業者から広く意見や提案を求め、「対話」を通じて市場性を検討しつつ、実現化に向けて官民で取り組む調査

Q ふれあいセンター譲渡の方向性は

A 必要性と財源を検討していきたい



新政会
藤田　　守 議員

問 中六ふれあいセンター譲渡の市の考え方は。

答 地元譲渡にかかる方法論や時期などは、意向集約および地元合意のプロセスを大切にしながら説明や協議を継続して行っていきたい。

問 地元が譲渡を受けない場合は、どうなるのか。施設の譲渡は、隣接の小学校跡地活用と密接に関係している。小学校が使えるのかが、最大の焦点である。

答 当該施設に付随する避難所などの機能についても、光熱水費などの維持管理経費を削減する観点から、他の施設に移管することで検討したい。集会施設としての機能廃止後は、売却、貸付などに向け検討する。困難と判断した場合は、本市の全額負担で解体し更地とする。更地後も有効活用に向け売却や貸付など検討していきたい。

問 施設の必要性と財源が一番の問題である。理想は、譲渡を受け、今の施設を解体し、新しい施設を設置することである。市の見解は。

答 地域との協議プロセスの中で、支援制度などを最大限活用して、できるだけ地域の負担軽減が図れるよう研究・検討していきたい。（産業政策部長）



譲渡に向け課題のある中六ふれあいセンター

その他の質問

- 観光戦略の展開によるまちづくりについて
- 有害鳥獣対策の強化について

Q 学校の労働時間は他業界と大違い

A 働き方改革を着実に進めたい



蒼士会
田渕　裕二　議員

問　教員の労働時間・部活指導・教務外活動などの分析結果が文科省より公表され、その後、学校の働き方改革緊急対策と業務改善および勤務時間管理に関わる取り組みの徹底が、全国の教育委員会に通知された。本市教委ではどのような対策を実施したのか。

答　本年9月よりタイムカードによる、明確な勤務時間管理を導入した。

問　小学校58％・中学校74％の教員が週60時間を超える超過勤務だが本市の現状はどうか。

答　集計は異なるが、月60時間以上189人、80～100時間68人、100時間以上34人が超過勤務の現状である。

問　長時間勤務の要因となる部活指導を、外部指導員に託してはどうか。

答　現在2名の外部指導員を導入している。

問　学校の働き方改革が生徒児童の教育向上に直結すると考えるが見解は。

答　業務軽減は喫緊の課題である。教職員の健康や生活の質と人間性の高まりが、生徒児童と向き合う教育の質の向上につながる。働き方改革を着実に進める。（教育長）

産業別1週間の労働時間の分布
他業界と比べても、学校の長時間過密労働

	週60時間（≒過労死ライン）以上働いている割合	週80時間（≒月残業160時間）以上働いている割合
建設業	13．1%	1．5%
製造業	8．3%	0．7%
情報通信業	10．2%	1．2%
飲食店	28．4%	5．2%
医療業	7．5%	1．2%
国家公務	8．7%	2．2%
小学校教諭	57．8%	2．7%
中学校教諭	74．1%	15．8%

小中学校以外は「労働力調査（2016年度）」、小中学校は「教員勤務実態調査（2016年実施）」をもとに作成
※週35時間以上勤務の人のみを集計対象

産業別一週間の労働時間の分布表
（中央教育審議会　妹尾昌俊（せのおまさとし）委員の研究発表資料より）

その他の質問

- 市民交流プラザの運営状況について
- 地籍調査事業の推進について

Q 定住自立圏に向けた取り組みは

A 近隣市の理解を求め検討していくべき



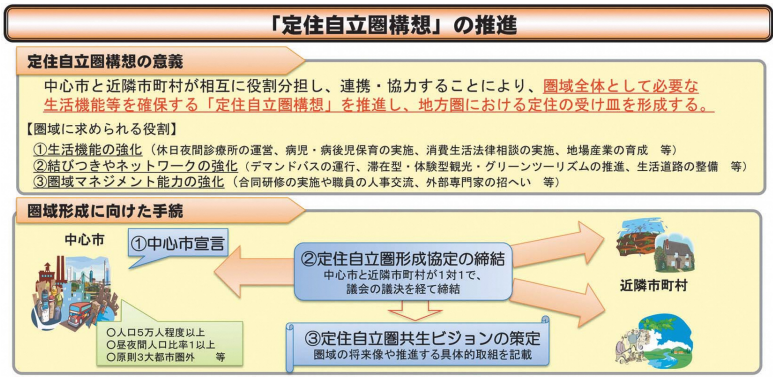
大志の会
桐村　一彦　議員

問　「定住自立圏」導入に向けた取り組みの考えは。

答　近隣自治体と相互に連携協力により圏域全体として必要な生活機能などを確保する定住自立圏の実現は、人口減少が進む中、地域を活性化し、地域経済を持続可能なものにするためにも重要な施策である。今後も広域連携を進め実績を重ねる中で定住自立圏構想の実現については、地域創生を推進していくためにも有効な手段として検討していきたいと考えている。

問　中心市認定の「福知山市」としての認識は。

答　京都府北部地域の自治体あるいは隣接する兵庫県北部の自治体と定住自立圏の実現に向けて、主体となって検討していくべきと考えている。一方お互いが十分納得した上で、連携の形を決めていくための調整が必要と認識している。また、福知山市民および各自治体の住民の皆さまにも、定住自立圏構想の必要性について理解していただける取り組みも必要と考えている。（市長公室理事）



定住自立圏の概要（総務省ホームページより）

その他の質問

- 農地保全への対策について
- 小・中学校における諸課題について

一般質問

Q ポッポランドは再開できるか

A 総合的に検討し方向性を見極める



大志の会
西田　信吾　議員



休館された鉄道館ポッポランド1号館

問　**本市にポッポランドは必要か。市長の考えは。**

答　本市は歴史的に鉄道の要衝として発展した。ポッポランドは中心市街地活性化の拠点としての位置付けだ。（市長）

問　**1号館の休館経緯は。**

答　建築から80年以上経過した建物で、老朽化と耐震上の問題で休館した。

問　**休館する前に、あり方検討委員会を設置できなかったのか。**

答　できなかった。安全を優先した結果だ。

問　**検討委員会の提言は。**

答　鉄道のまちの歴史を誇りに未来に継承し、本市の観光に寄与する内容であり、公設民営で設置する提言だ。

問　**来年度の再開は。**

答　関係課において検討する。実現可能か総合的に判断してできるだけ早く方向性を出す。

問　**新聞のコラムで「市の熱意が感じられない」とあったがどうか。**

答　新聞報道にはコメントしない。

問　**再開の意思はあるか。**

答　再開する場合は10年程度で閉めない持続可能性がある事業とする。総合的に検討する。（産業政策部長）

その他の質問

- 職員の働き方改革と財政負担の軽減に向けた取り組みについて
- 高齢者の健康寿命増進対策について
- 福知山公立大学周辺の新駅設置について

Q 豪雨の恐怖から住民を守る土石流対策を

A 森林環境税活用も可能と考える



福知山市議会公明党
足立　伸一　議員


生々しい土石流の傷跡（夜久野町柿本）

問　**土石流から住民の安全を守るものに、府が指定した土砂災害警戒区域を示すハザードマップがある。最近の豪雨に対しては自分の住む地域のどこにどんな危険があるかを、もっと詳細に分かるデータが必要だ。最新技術のレーザー計測を行い、危険区域のリアルな情報や画像を、住民に提供することを府に提案してはどうか。**

答　7月豪雨でできた大江町の天然ダム調査に、レーザーが使われ、詳細な状況が判明したと聞いている。積極的な活用がされることを望む。（危機管理監）

問　**大型防災工事も必要だが、山間地域で、地域の人々などが行う小規模の防災事業の財源として、森林環境税が活用できないか。**

答　可能と考える。（産業政策部長）

その他の質問

- 財政危機と今後の対応について
- 公共施設マネジメント計画の成果と見通し
- ディスポーザー導入の社会的メリットと課題について

総務防災委員会　相次ぐ災害情報　避難所の備えは大丈夫か

出張委員会として、広域避難所を視察

活動日　11月8日㈭

成和地域公民館、夜久野ふれあいプラザ、多目的研修集会施設構造改善会館の避難所3カ所を視察した。

相次ぐ大雨、台風による災害の危険が増大しているため、避難所の開設数は増加している。避難者数も年を追うごとに増加している。このような背景を基に、備蓄物資や収容スペースなど、施設としての整備状況について施設管理者や避難所担当者から説明を受けた。



備蓄倉庫の確認

政策提言の検証

同日午前には、平成29年3月に行った「消防団活動支援に関する提言」について、消防団応援事業などを通じて団員確保や処遇改善を求める政策提言がどう実行に移されているかを検証するため、消防本部から報告および説明を受け、意見交換を行った。

具体的な施策として、

①団員確保施策の推進
・団員カードの発行による生活支援策
・消防団加入募集の呼びかけ強化
・ふるさと納税基金の財源活用

②分団の統合・再編にかかる財政支援の拡充や全体計画の策定の検討

③機能別消防団の拡充

④消防団員の処遇改善および装備の充実

などに取り組まれているとのことであった。


新たに設置された公設福祉避難スペース

市民地域委員会　移住定住の取り組みを政策提言に

先進自治体を視察

活動日　10月31日㈬～11月1日㈭

視察先　滋賀県高島市、石川県七尾市

市民地域委員会から政策提言を提案するための調査研究として、移住定住の促進に取り組んでいる高島市と七尾市を視察した。

高島市は人口減少が加速化していることに危機感を持ち、「若者定住促進条例」を平成20年に制定した。重点的事業として、①住宅確保支援②就労・起業支援③子育て環境の向上④定住促進施策を掲げる。移住定住コンシェルジュと空家コンシェルジュを配置している。定住住宅リフォーム補助や住宅取得補助を行う。


行政視察（高島市）

七尾市は進学や就職による流出により人口減少が進んでいる。移住定住対策として住宅取得、市指定分譲宅地での新築、金融機関からの借り入れ補助などを行う。また、空き家バンクに登録した物件の契約が成立した場合に、所有者、町会に報奨金が出る。さらに三世代家族住宅リフォーム奨励金事業を開始した。仕事の支援としてハローワークと連携した求人情報の提供、創業希望者への金融支援も行う。移住者の交流会「イジュトーク」を毎月第2木曜日に開催している。石川県が東京で開催する移住相談セミナーに参加する。北陸新幹線開業のため移住ターゲットを首都圏に絞った。

出張委員会を開催

活動日　11月2日㈮

場　所　中夜久野地区公民館

夜久野みらいまちづくり協議会との出張委員会を実施し、意見交換を行った。主な内容は①空き家持ち主の意向調査の展望、課題について②協議会の取り組みについて③若い人の移住定住について④市との連携についてであった。同協議会の活発な取り組みを政策提言や今後の委員会活動に生かしていきたい。

委員会活動報告

教育厚生委員会
病児保育による子育て支援、日新地域での高齢者支援の現況を視察

病児保育事業の現況

活動日　10月29日㈪
視察先　病児保育所（福知山市民病院5階南病棟内）

子どもが病気の際、保護者が仕事などの都合のため家庭で保育できない場合に、子どもを一時的に預かる事業である。対象は本市在住の6カ月から小学校3年生までの児童。平均的には1歳～2歳の利用が多い。

病室を改造した施設であるための課題もあり、病児保育専用施設（医療機関併設型）の必要性を感じた。財政面の課題もあるが、子育てしやすいまち福知山には、なくてはならない施設である。

また、利用する子どもたちが、病児であっても、良い保育を受ける権利の主体であることを再確認できた。



病児保育所視察の様子

日新地域包括支援の現況

活動日　11月26日㈪
視察先　日新地域包括支援センター

社会福祉法人空心福祉会が受託運営されており、平成27年1月に開所されて3年が経過する中で、地域の社会資源の把握、地域各機関との連携を図りつつ、高齢者の総合相談窓口としての機能を効果的に発揮できるよう、日々取り組まれている。



日新地域包括支援センター

相談内容としては、介護保険の新規申請、サービス調整、住環境問題などの相談が主である。

個別課題の解決のみならず、次の段階として、地域でのネットワーク構築や課題発見に資するための話し合いの場を模索されている。

今後は、市民参加型の医療・介護福祉の取り組みが必要不可欠であり、市の施策に少しでも反映できればと感じた。

産業建設委員会
西山産業支援センター長と意見交換
有害鳥獣対策強化を京都府へ要望

西山センター長と意見交換

活動日　10月24日㈬
場　所　福知山産業支援センター（ドッコイセ！biz）

福知山産業支援センターの現状と課題について西山周三（にしやましゅうぞう）センター長から説明を受けるとともに、本市の産業振興につながる施策について意見交換を行った。



西山センター長と意見交換

西山センター長の積極的な取り組みにより、多くの相談者とリピーターを生み出している状況であり、今後、相談状況を分析する中で幅広いニーズに対応していくことが求められる。ITやデザイン分野の専門スタッフの充実や、地元関係機関の参画と連携、相談スペースの充実など、あらゆる分野に対応できる体制の検討が必要と感じた。

有害鳥獣対策強化に関する要望活動

活動日　11月27日㈫
場　所　福知山地方総合庁舎

京都府へ有害鳥獣対策強化に関する要望活動を行った。

要望内容は、①中丹地域有害鳥獣処理施設の管理運営にかかる財政支援　②有害鳥獣捕獲対策の強化と財政支援　③有害鳥獣防除対策にかかる財政支援　④ツキノワグマの個体数管理と人命優先かつ迅速な対応の4項目である。

有害鳥獣対策は、切実な地域の課題であり、シカ・イノシシなどの野生鳥獣による農作物などへの被害は、農家の営農意欲や農地保全にも大きく影響している。危険性を伴うクマ、サルの被害も深刻化しており、対策が必要となっている。府としては捕獲を重視する方向で市と役割分担を明確にし、連携を密にして取り組み、地域の切実な声に応えていきたいとのことであった。



京都府へ要望書を提出

市議会から市長へ 産業支援に関する政策提言

福知山市議会では、議会改革の一環として、市の重要な施策や行政課題に関して、政策提言や政策立案を行うことを見据えた取り組みを行っています。

こうした活動の成果として、「産業支援に関する政策提言」をとりまとめ、12月21日に市長に提言書を提出しました。



市議会から市長へ政策提言書を提出

政策提言の要旨

①福知山産業支援センター（ドッコイセ！biz）の体制の充実

・幅広いニーズに対応できるよう専門スタッフの配置を強化し、誰もが安心して相談できる環境や雰囲気づくりとともに、認知度をさらに向上させる。

②産学官金の連携とローカルイノベーションの創出

・福知山公立大学や京都工芸繊維大学の知見を十分に生かした近隣市との連携、産学官金の連携を構築し、圏域全体の人材育成および産業力の底上げと、新たな価値の創造を促進する。

③地域産業の振興につながる産業支援

・コミュニティビジネスの育成や地域資源を活用した新産業の創造に努め、若者やUJIターン者、高齢者、女性、障害のある人などの就業の場の確保、新しい雇用の創出を促進する。

・工業団地から市内中小企業への発注拡大支援、農業者の経営力向上支援、伝統産業の後継者育成支援などにより、個性と活力のある地域産業を振興する。

政策提言への思い

地元企業が元気になり、地域に活力が生まれることを切に願う。福知山産業支援センターには、新たに起業を志す人や既存の事業者にとって今後さらに力強い存在となり、本市の産業振興の要として有効に機能していけるよう、大きな期待とともに注視していきたい。

平成30年度 上半期の政務活動費を各会派へ交付

平成30年度上半期（4月から9月）の政務活動費を各会派へ交付しました。
また、政務活動の実績報告、領収書、視察研修報告書の写しを市役所1階情報公開コーナーおよび市議会のホームページで公開しています。

平成30年度上半期（4月～9月）実績報告

（単位：円）

会派名・無会派 議員名	上半期交付確定額 （平成30年4月～9月）
日本共産党 福知山市会議員団	352,578
福知山市議会公明党	247,825
福知山未来の会	0
蒼士会	224,922

会派名・無会派 議員名	上半期交付確定額 （平成30年4月～9月）
大志の会	123,152
新政会	282,012
真風の会	51,116
無会派　荒川　浩司	136,383
計	1,417,988

3月定例会の予定（33日間）

2月25日（月）本会議〔施政方針、提案理由説明（新年度予算）〕
3月　5日（火）本会議〔質疑～委員会付託（新年度予算）、追加提案理由の説明（補正予算、条例等）、代表質問〕
6日（水）本会議〔質疑～委員会付託（補正予算、条例等）、代表質問〕
7日（木）各所管別委員会〔条例・その他〕
8日（金）予算審査委員会〔補正・新年度予算〕
11日（月）予算審査委員会〔補正・新年度予算〕
12日（火）予算審査委員会〔補正・新年度予算〕
13日（水）予算審査委員会〔補正・新年度予算〕
14日（木）予算審査委員会〔補正・新年度予算〕（予備日）
22日（金）予算審査委員会〔新年度予算〕（総括質疑）
25日（月）予算審査委員会〔補正・新年度予算〕（自由討議・討論・採決）
28日（木）本会議〔委員長報告～採決〕
29日（金）〔会期〕

※この会議予定は、今後変更になる場合があります。
また、このほかに、全議員協議会などの会議を随時開催します。

第1回

行政視察研修報告会を開催

11月9日（金）

7委員会3会派が報告

市議会の委員会や会派による視察研修の成果を、市民の皆さまに報告し、市政に反映させることを目的に、報告会を開催しました。先進事例の説明や、本市での施策充実に向けた活動方針などについて報告しました。報告書は市議会ホームページで公開しています。

また、報告会の様子は、同ホームページの「委員会等の録画配信」から視聴できます。

●発行日／平成31年2月　●発行／福知山市議会　●編集／広報広聴委員会
福知山市字内記13の1　TEL.0773(24)7031　FAX.0773(24)7080

「元気やで福知山！」 No.28

議員訪問インタビュー

■今回の訪問議員：井上　修・柴田　実

まちづくりは「光秀」から　福知山観光協会

福知山でさまざまな活動を通じてがんばる人を議員が訪問し取材します。

2020年NHK大河ドラマ「麒麟がくる」主役明智光秀の決定により、今後、福知山城や明智光秀に関連する施設への観光・誘客を図る必要があります。

今回は、重要な役割を担う福知山観光協会の、福島慶太（ふくしまけいた）会長に話を伺いました。



福知山観光協会　福島慶太会長

大河ドラマ「麒麟がくる」放映に向けて

「これまで、光秀ゆかりの地として大河ドラマの実現に向けた活動を積極的に進めてきました。今後は、大河ドラマ決定を契機とした集客効果を高めるとともに、福知山市のまちづくりに及ぼす波及効果をしっかりと分析し、一過性に終わることなく、持続的な観光を創り出していく必要があります。」と力強く語られました。

お話のなかで、六つの具体策を聞くことができたのですが、ここでは一つを紹介したいと思います。

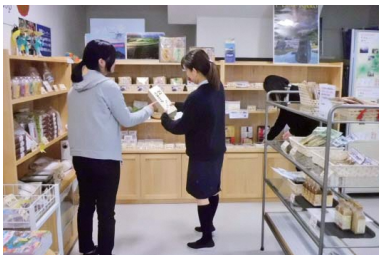
「旅行に行った時に、ほとんどの駅に地元ゆかりの人物像が建立されています。福知山は明智光秀ゆかりのまちでありながら明智像がありません。そこで、駅北口広場に光秀公・熙子（ひろこ）の夫婦像の建立を考えています。

これは市の補助金だけではなく、福知山城瓦一枚運動のような、市民の皆さまや関係する団体などの協力をいただき、クラウドファンディングで資金調達を行うべきだと考えています。」他の具体策も、福知山観光の持続性をしっかりと考えた案で、聞いている私たちも福島会長の想いに夢が、大きく膨らみました。

大河ドラマ決定に伴う、受入れ態勢は

「観光関連団体と行政との連携強化はもちろんだが、ホームページやSNSの活用による情報発信、土産、食事などの開発、イメージキャラクター関連商品開発、宿泊施設の確保など必要な事業にしっかりと取り組んでいます。

観光客に便利になるよう市バス光秀ルートの開設を進めるよう要望もしています。」



観光案内所内のおみやげ処

商都ふくちやまと観光の課題

「福知山は商いのまちで、観光入り込み客数は舞鶴市が約250万人、宮津市が約300万人、福知山市は約100万人という中、どのように誘客を図っていくのかは大きな課題と捉えています。

昔、福知山は豊岡県であったように、大きな連携の活動が必要であり、現在、海の京都、森の京都、大丹波観光推進委員会、京都丹後鉄道利用促進協議会など、会員相互、関係官庁、各種団体と連絡協調を図っていかなければなりません。

大河ドラマに向け福知山を広くPRし、光秀ブームを盛り上げ、福知山を印象づけるよう活動していきます。」



福知山観光協会
（JR福知山駅北口　福知山観光案内所）

本市の観光を盛り上げるためには、行政や議会、市民の皆さんの協力が必要です。観光振興にむけ、今後も支援をお願いします。

編集後記

今年は亥年です。亥年の過去には、大正12年の関東大震災、昭和34年の伊勢湾台風、平成7年の阪神淡路大震災など、偶然ながら大きな災害が起こっています。自然のことであり、人には災害を止めることは不可能ですが、常に防災減災対策の強化が必要です。

福知山市では、昨年、一昨年と2年続きで災害がありました。被災された皆さまに心からお見舞い申し上げますとともに、市議会の重要な責務として防災減災対策に努め、災害のない亥年となるよう心から祈っています。

また、今年は元号が変わり、統一地方選、参院選もあります。どの様な1年になるのか。皆さんお元気でお過ごしください。

（広報広聴委員会）